

みずほCustomer Desk Report 2020/03/23 号(As of 2020/03/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.30	1.0657	118.57	1.1491	0.5748
SYD-NY High	111.50	1.0831	119.30	1.1955	0.5987
SYD-NY Low	109.35	1.0638	117.88	1.1413	0.5666
NY 5:00 PM	110.80	1.0701	118.77	1.1671	0.5805
NY DOW	19,173.98	▲ 913.21	日本2年債	-	-
NASDAQ	6,879.52	▲ 271.06	日本10年債	-	-
S&P	2,304.92	▲ 104.47	米国2年債	0.3214	▲ 13.33bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.4767	▲ 22.81bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.8813	▲ 27.14bp
シカゴ日経先物	17,365.00	▲ 35.00	独10年債	-0.3300	▲ 13.30bp
ロンドンFT	5,190.78	39.17	英10年債	0.5545	▲ 15.95bp
DAX	8,928.95	318.52	豪10年債	1.2500	▲ 26.45bp
ハンセン指数	22,805.07	1,095.94	USDJPY 1M Vol	15.76	▲ 1.94%
上海総合	2,745.62	43.49	USDJPY 3M Vol	13.35	▲ 1.30%
NY金	1,484.60	5.30	USDJPY 6M Vol	11.70	▲ 1.05%
WTI	22.63	▲ 3.28	USDJPY 1M 25RR	-6.18	Yen Call Over
CRB指数	123.88	▲ 3.75	EURJPY 3M Vol	13.64	▲ 1.28%
ドルインデックス	102.82	0.06	EURJPY 6M Vol	12.29	▲ 1.02%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月20日	16:00	独 PPI(前月比)	2月 -0.4%	-0.2%
	16:00	独 PPI(前年比)	2月 -0.1%	0.2%
	23:00	米 中古住宅販売件数	2月 5.77m	5.51m

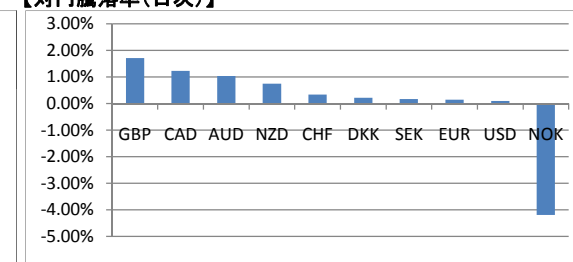
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月23日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 -0.29	-0.25
3月24日	00:00	欧 消費者信頼感	3月 -13	-6.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】相場の混乱はいつまで続くのか

この三連休は初夏を思わせる暑さとなり東京の桜は満開も近く、季節の移ろいを感じさせる天気となったが、市場は引続き新型コロナウイルスショックに激震する日々となっている。資産価格急落に「現金化」の動きが各市場で広がっており、その中でも基軸通貨であるドルの調達需要が圧倒的に高い。レボ市場やクロスカレンシースワップ市場などが荒れているだけでなく、為替のスポット市場でも同様ドル買いとなっており、その広範な影響には驚くばかりである。そもそも今回のコロナショックは2008年のリーマンショックとは異なり、各国の鎖国政策を受け実体経済への影響が深刻化、その結果家計や企業の収入減に景気減速懸念が瞬刻に広がり、金融市場に波及してきたと考えられる。2008年は最終的に金融機関の資本不足懸念にまで発展する事態となったが、今回は過去の各金融機関への規制強化の効果もあってその懸念は現時点では浮上していない。足元の環境に各企業・家計が耐えられるかは、過去どの程度資産(現金)を積み上げてきたかに依存する状況で、斯かる中政府・中央銀行に求められるのは企業の資金繰り支援や雇用継続支援といった内容になるだろう。しかし、この支援策は企業・家計が新しく設備投資や消費活動をするに繋がるかは不透明であり、縮小した経済活動が元に戻るかは新型コロナウイルスの封じ込め時期に左右されるという環境は変わっていない。とは言え、欧米主要国で過去最大級の財政出動が報じられるようになっており、各国の対応もようやく足並みが揃ってきたところ。欧米で患者数が爆発的に拡大、致死率も高くウイルスが変異した可能性もありそうだが、パニック的な換金売りもそろそろ落ち着いてくることに期待したい。ドルの資金繰り不安が減退するにつれ、為替でも徐々にリスクオフの円買いが復活するのではないかと。満開の桜を楽しむことは難しいそうだが、初夏の陽気を感じられる頃には外出も楽しめるようになってほしいと願いつつ、流動性の非常に薄い年度末の相場を乗り切る準備をしっかりと今週を過ごしたい。(岡本)

東京	東京時間は111.30レベルでオープン。中国の金融緩和期待を背景にアジア株が堅調推移する中、ドル円は111.34まで上昇していたが、中国の最優遇貸出金利の据え置きが発表となるとドル円下落に転じた。また、米加州で外出禁止令が出たとの報道もドル円の値を重くし、結局109.81レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.81レベルでオープン。新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした「有事のドル買い」が強まり、110.39円まで上昇。日米欧など6中央銀行によるドル資金供給策の発表にドル高抑制の効果は殆どなく、110.10レベルでNYに渡った。ユーロは、1.0764でオープン。ドル資金不足を意識したドル買いは後退しており、欧州通貨は総じて軟調地合い。1.0711レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク市場は110.10レベルでオープン。朝方はドル買いが強まり111.00まで上昇する。10時に発表の米2月中古住宅は予想比良かったものの、ドル円の反応は限定的となるが、Fedが中銀間の協調スワップライン取り決めを強化とのヘッドラインを受け110.59まで反落する。昨日の米加州州全土に外出禁止令が発令されたことに続き、NY州も22日からの全労働者の出勤禁止が発表され、その後はマネーマーケット支援枠組みを拡充するため、Fedが一部地方債も購入すると発表した。ドル円の反応は限定的となった。正午頃になり、ドル買いが再び強まり、一時111.50まで上昇する。午後は一旦110.86まで反落したが、底堅い推移が続き111.50まで戻し、110.80で越過。一方、ユーロは1.0711レベルでNYオープン。朝方は前述のスワップラインに関する発表を受けユーロが買い戻される局面もあったが、ドル買いが再び優勢となり、1.0663まで反落する。午後EUが今年のレセッションは2009年の金融危機に匹敵する可能性との見解を示したこともあり、ユーロは上値の重い展開が続き、1.0638まで下落し、1.0701レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岡本・逸見 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■ アジア・ヨーロッパ・元金

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷浦
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
8	12